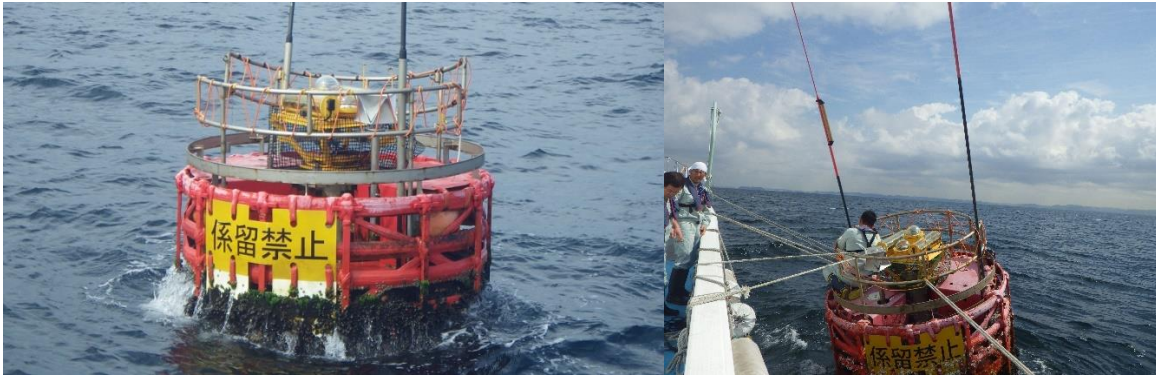


題 相模湾に設置されている浮き漁礁「浮き相模」の点検補修



上記画像は、「浮き相模」の点検補修状況です。

すでにご存知の方もいると思いますが、「浮き相模」は、神奈川県水産課がカツオやマグロなどの回遊魚の鯖集を目的として相模湾に設置した浮き魚礁です。

同時に、「浮き相模」は、GPS（測位位置システム）を利用し、定位置と現在地の差異から、付近の海流情報も得られるようになっていきます。

ただ、この「浮き相模」は、その名の通り、通常は海上に浮いていますが、海流が強くなると海面下に沈んでしまうくらい強い力を受けます。そのため、浮体に異常がないかを見守る必要があるため、定期的に漁業調査指導船「ほうじょう」で確認をとっています

ところで、「浮き相模」の近くで釣り（特にカツオやメジねらいのルアー釣り）をされる方にお願ひしたいことがあります。

「浮き相模」の上部には、各種データを収集するための装置が入った重要な容器があります。この容器に、ルアー（特にメタルジグのような重たいルアー）やおもりなどがぶつかり破損すると、故障の原因となり、データの取得ができなくなるばかりか、**補修に多額の費用**が掛かってしまいます。実際、「浮き相模」の点検補修時に結構な数のルアーが「浮き相模」に引っかかっています。

くれぐれも釣具が「浮き相模」に当たらないようご注意くださいますようお願い致します。